

清水合金製作所

連載シリーズ第2弾

営業マン

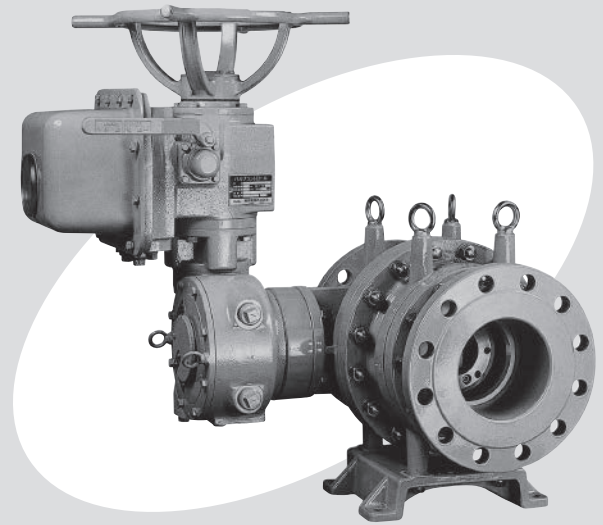
数珠つなぎ④

名古屋営業所
所長 島田 孝也 氏



イチオシ
製品

プランジャーバルブ



多様な送配水制御1台で
後進の育成にも日々尽力

本連載の最後を飾るのは、入社30年目を迎えた島田孝也・名古屋営業所長。平成4年の入社から昨年末まで大阪営業所で勤務し、管轄エリアの全県で豊富な営業経験と実績を積み上げてきた。初の転勤先となった名古屋営業所では、OJTを通して後進の育成に取り組みつつ、担当する滋賀県内の水道事業体や管材商社に対し営業活動を展開する。

「これまでに培った経験を活かし、お客様の多様なニーズに期待以上の提案ができるよう心がけています。スタッフ6名が力を合わせ、1日も早く管轄エリア8県の皆さんの力になれるよう尽力したい」と力を込める。

7年前に制御弁『プランジャーバルブ』が和歌山県内の事業体で採用されたことが今も強く印象に残っていると語る。

まずはバルブの構造について「最大90度回転するクランクに取り付けられた弁棒および円筒型の弁体は、ピストン運動の要領で下流側に水平移動します。同じく円筒形の弁座部先端にはゴムシートが設けられ、弁体を押し込むことで全閉します。このクランク機構は砲弾のような形状のガイドに収納し、弁箱内の中央に固定されています。流体は弁箱とガイドの間をリング状に流れ、弁座を通過すると管の中心部でクロスします」と説明する。

こうした特殊形状、機構が唯一無二の特長を生み出した。「バルブ開度と流量変化がほぼ等しく、制御弁として理想的な流量率カーブを描きます。また、ピストンの水平変位の速度は全閉に近づくほど遅くなるため、ウォーターハンマーを抑制できるほか、制御が難しい小開度時きめ細やかな制御が可能です。制御弁ですが全閉時には完全止水し、優れた耐キャピテーション特性も有しています」とし、さらには「弁座を取り替えるだけでCv値を大きく変更できるため、水需要の増減にも柔軟に対応可能です」と続ける。

プランジャーバルブは圧力、流量、水位の各制御や緊急遮断弁としての運用が可能で、組み合わせることもできる多機能さを誇る。

先述の事業体では「配水池2施設の流量と水位を同時に遠隔で制御し、完全止水できることが決め手となりました」と振り返る。「浄水場内のポンプ施設から第一配水池を經由し、

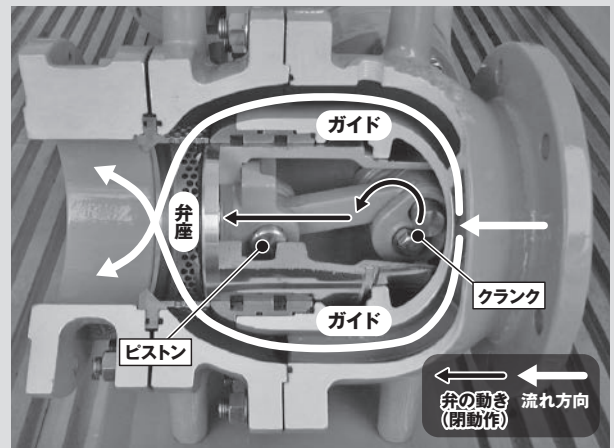
第二配水池に送水する従来のルートから直送するルート変更を行い、また、別のルートで第三配水池にも送水するケースでした。両配水池の容量が異なるため、



お客様の期待以上の提案を心がける

流入水量のバランス調整を行うとともに、満水時は全閉する水位調整も必要です。こうしたお客様のニーズと本製品の特性が合致していると考え、技術部門とも連携し、お客様や設計会社に熱意を持って提案しました」。

また、「採用のきっかけとなった送水ルートの変更は、災害時の給水安定性の強化を目的としたものでした。お客様の切なる思いに応えられる製品をお届けできたことは、営業担当者として大変光栄です。昨年度はメンテナンス作業を行い、非常に順調に動作することを確認しました。末永く安心してお使い頂きたいですね」と笑顔を見せた。



内部構造(全開時)

長岡教授のコメント



特に小規模な配水系統は、地形的な高低差が大きいことが多く、また、日間の流量変動も大きいことから、圧力、管内流速、残留塩素濃度等の適正なコントロールのためには、きめ細かい圧力・流量コントロールが求められ、できればこれを遠隔操作で行うことが理想であろう。

本製品は、その優れた流量制御特性、完全止水機能、遠隔操作性などから、まさにこれらのニーズに合致した革新的な製品であるといえる。事業体のニーズに応えたいという、熱い志をもつスタッフが協力して開発された本製品は、まさに民間企業の開発潜在力を事業体が後押しした結果生まれたものとも言え、官民連携による技術開発の成功例として、高く評価したい。